

議会だより

No.221

2021.8.1

発行 茨城町議会
編集 議会広報委員会

茨城町ホームページ <https://www.town.ibaraki.lg.jp/>



学校紹介シリーズ

ウイステリアナーサリースクール
暑さに負けるな！
みんなでジャガイモ収穫体験



6月定例会開催

主な 内容

6月定例会のあらまし……………	2
一般質問……………	4
議会活動報告・お知らせ……………	6



感染症対策 8議案を承認・可決

令和3年
第2回定例会
6/3~6/8

用品等支援 子育て世帯支援など

承認された議案

専決処分の承認を求めることについて（茨城町税条例等の一部を改正する条例について）

・固定資産税の評価替えに伴い、税額が増加する土地について、令和3年度に限り、前年度の税額に据え置くななどの改正。

【全員賛成】

専決処分の承認を求めることについて（茨城町予防接種事故調査会設置条例の制定について）

・予防接種法に基づく予防接種に関連して発生した事故について審議する事故調査会を設置するため、所要の規定を整備する条例の制定。

【全員賛成】

※専決処分とは…

議会の権限である事項について、特に緊急を要する場合などに、町長が議会の議決・決定前に処理することを行います。

可決された議案

茨城町立学校給食共同調理場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

・茨城町立学校給食共同調理場の新設移転に伴い所在地を変更する改正。

【全員賛成】

茨城町企業誘致条例の一部を改正する条例について

・茨城中央工業団地の企業立地を促進するため、土地賃借奨励金を新設するなどの改正。

【全員賛成】

請願・陳情の審査結果

継続審査となったもの

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情

水戸市城南3-9-20

茨城県医療労働組合連合会

執行委員長 後藤 朋子

人事案件

茨城町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

坂場 克身（海老沢）

【全員賛成】

茨城町監査委員の選任につき同意を求めることについて

市村 照彦（鳥羽田）

【全員賛成】

※議会の同意が必要となる

人事とは…

町長が議会の同意を得て、選任し、または、任命する人事には、地方自治法などに基き、副町長の選任、教育委員会の教育長及び委員の任命、農業委員会の委員の任命、監査委員の選任、固定資産評価審査委員会の委員の選任などが規定されています。



新型コロナウイルス 関連補正予算を含む

ワクチン接種関連経費 感染症対策衛生

専決処分により承認された令和3年度補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	119億2000万円	1531万円	119億3531万円

一般会計補正予算の主な内容

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 **1531万円**
(新型コロナウイルスワクチン接種において、ゆうゆう館での集団接種を実施するための事業経費)

可決された令和3年度会計別補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	119億3531万円	3994万円	119億7525万円
国民健康保険特別会計	37億5133万円	50万円	37億5183万円
介護保険特別会計	34億2742万円	36万円	34億2778万円

一般会計補正予算の主な内容

【新型コロナウイルス感染症対策関連経費】

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業費(保育対策総合支援分) **510万円**
(町内の保育施設が通常運営に必要なマスク、消毒液等の購入費用を助成するための事業経費)
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業費(子ども子育て支援分) **690万円**
(町内の保育施設が行う地域子育て支援拠点事業等に必要なマスク、消毒液等の購入のための事業経費)
- ひとり親世帯以外生活支援特別給付金給付事業費 **2530万円**
(ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯に対し、生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を児童1人当たり5万円給付するための事業経費)
- 教育支援体制整備事業費 **150万円**
(町立幼稚園、認定こども園に対し、マスク、消毒液等を整備するための事業経費)

一般質問



川澄 敬子 議員

問 学校給食に安全安心な地元の農産物を要望

答 地元農産物の使用を今後も引き続き積極的に推進していく

問 地元産農産物や減農薬米、有機米の学校給食への積極的な活用と米生産者に対する、普通栽培米価格との差額分補助を要望する。

答 地元農産物の使用については、現在は身近で生産者の顔が見える町内産コシヒカリを使用し、週3回米飯を提供しており、今後も引き続きひぬ丸くんメニューや、ひぬ丸くんウィークを設定するなど、積極的に推進していく。減農薬米や有機米については、その生産の現状やコストを鑑みながら学校給食への活用を検討していく。また、普通栽培米価格との差額分補助については、現在、厳しい状況と考えている。

問 新しい学校給食センターの新しい機能や設備等について伺う。

答 本年9月供用開始となる新学校給食共同調理場の設備機能については、常に床が乾いた状態で作業をするドライ方式を基本としており、温度や湿度管理を実現する空調設備ほこりや虫などの侵入を抑制するドックシールドターやエアーカーテンの設置など、衛生管理の徹底及び作業効率の向上が図れる施設となっている。また、食物アレルギーを持つ子どもたちのための設備として専用の厨房を設置しており、専任の調理員を配置することである。アレルギー原因物質をのぞいた除去食の調理を行い、可能な場合は代替食を提供できる施設にもなっている。



新学校給食共同調理場完成予想図

問 子育て支援の充実のために、またコロナ禍における貧困対策として学校給食費の無償化について見解を伺う。

答 学校給食の実施に必要な経費負担については、学校給食法及び同法施行令に規定されており、施設設備費、人件費などを町が負担し、食材料費については保護者が負担するということになっている。本町においては、副食の充実や保護者の負担軽減の見地から、食材料費の一部や光熱水費を公費で負担している。

将来にわたり安全・安心な学校給食を続けていくため、食材料費につきましては引き続き、保護者の皆様方にご負担をお願いしたい。また、貧困対策としては、就学援助制度の活用を周知していく。

問 学校トイレに生理用品の常備を要望

答 各小・中学校のトイレに生理用品の配置を進めていく

問 災害避難所での生理用品などの備蓄品の管理について伺う。
また、学校のトイレに生理用品を常備することを要望する。

答 災害避難所での備蓄品については、指定避難所12か所の防災倉庫に、非常食や飲料水、毛布・発電機などと併せ、女性への配慮として更衣室テントや個室の簡易トイレなどを備蓄している。生理用品はこれまで備えていなかったが、速やかに災害用備蓄品として備え、安心して避難できる環境づくりに努める。備蓄後の管理も使用期限に基づき更新するなど適切な管理に努める。

また、コロナ禍で生理の貧困問題が明らかとなった背景に鑑み、各小・中学校のトイレに生理用品の配置を進めていく。今後学校では、児童・生徒への保健指導をこれまでと同様に実施していくとともに、生理の貧困に苦しむ児童・生徒を見逃すことなく、適切な支援を図っていく。



一般質問



岩松 律子 議員

問 コロナ禍における避難所運営について

避難者が安心して避難できる体制づくりに取り組んでいく。

問 コロナ禍において、自然災害に対する避難所を開設する際、避難所の感染症対策を強化するため、手洗いや手指消毒、マスクの着用など基本的な感染対策の徹底と、備蓄物資の充実が必要になるが、本町の備蓄品の数量及び備蓄場所について伺う。
また、これまで町として資機材を使用した避難所開設訓練は実施されたか。また今後の実施予定は。

答 備蓄品については昨年度、地方創生臨時交付金を活用し、新たに消毒液やフェイスマスクなどの衛生用品のほか、ワンタッチ式間仕切りテント588張、段ボール製の間仕切り及びベッドを各60台購入しております。さらに本年6月末には、折り畳み式簡易ベッ

ド420台が納品予定。これらの保管場所については、各指定避難所の防災倉庫にスペースを確保できないことから、現在、閉校となった小学校の校舎内に一括して保管している。避難所開設訓練は、昨年8月に感染症対策を講じた避難所の開設から避難者の受入れなど、資機材を活用し、シミュレーションを実施。また、今年度、前回の訓練時の改善点などを踏まえ、6月に実施する予定である。



職員向け避難所開設訓練

問 デマンド型乗合タクシーのシートの利用者拡大への対応について

利便性向上のため、関係機関協議を進めていく。

問 デマンド型乗合タクシーについて、現在の利用登録者数、リピーターの状況、月の新規登録者数、平均稼働率、平均乗車人数について伺う。

答 本年5月末現在で、利用登録者数は、403人、うち実際に利用された方は182人、延べ3888人で、リピーターが多い状況。新規利用登録者数は毎月10人程度で推移。平均稼働率は約71%であるが、直近3か月では、全ての月において、80%を超えている。1便あたりの平均乗車人数は2人である。

問 デマンド型乗合タクシー事業を、知らない人が、まだたくさんいるため、再度、周知徹底を。また、来庁できない、タクシー利用券の購入希望者への対応や今後、ワクチン接種等で、利用者が増加した場合の町の考えを伺う。

答 周知方法については、これまで7回の広報紙掲載、ホームページ、SNSによる情報発信、乗降施設等への案内チラシの設置、民生委員への周知依頼などを実施。今後も定期的な広報紙への掲載、新たに案内チラシの全戸回覧、利用者の方に、知人等への周知依頼を行うなど、更なる周知徹底に努めていく。また、利用券の購入については、役場窓口で代理の方でも購入ができるが、今後は、利便性向上のため、町内の郵便局でも購入ができるよう協議を進めていく。
利用者増加への対応は、現在、稼働率が上昇している状況や新型コロナウイルス感染症防止の観点から運行台数を1台から2台に増やしたいと考えているところであり、今後、関係機関との協議を進めていく。

新型コロナウイルスワクチン接種体制等に関する要望書を町に提出

新型コロナウイルス感染症がいまだ収束の兆しが見えない中、ワクチン供給量や接種体制等、ワクチン接種に対する町民の関心は非常に高い状況にあり、私たち議員の元にも、ワクチン接種の予約や今後の接種に対する不安の声が届いています。このような状況を踏まえ、町議会は、令和3年6月25日に全員協議会を開催し、町民の不安を払拭するため、これまで以上に、必要な情報が正確かつ迅速に町民に届き、ワクチン接種が安全、安心かつ円滑に実施される支援体制の拡充などを求める要望書を、同日、議会の総意として、小林宣夫町長に提出しました。

町は、7月12日付で、新型コロナウイルスワクチン接種対策室の職員を増員し、速やかにワクチン接種の支援体制の強化を図りました。

今後も町議会では、町民の皆様の生命、健康、暮らしを守るため、町と連携強化を図り、感染症対策に取り組んでまいります。



小林町長に要望書を手渡す田家議員

訃報

福田茂議員が、去る令和3年5月28日に、逝去されました（享年74歳）。

告別式には、議会を代表し、田家勇作議長が弔辞を述べ、弔意を表しました。

また、令和3年第2回定例会の本会議では、町議会の総意として、山西正樹副議長より追悼の言葉並びに全員で黙とうをささげました。

故福田茂氏は、平成11年に初当選して以来、6期21年以上の永きにわたり茨城町議会議員として活躍されました。

この間、経済、予算・決算の各常任委員会委員長や副議長などの要職を歴任され、平成29年12月には、36代目の議長として重責を担い、議会及び町政の発展にご尽力いただきました。ここに謹んで、哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



令和3年第3回定例会 会期日程（予定）

期	月/日	曜	時刻	種別	審議等の内容
1	9/2	木	10時	全員協議会 本会議	議案一括上程、提案理由説明
2	9/3	金		休会	議事調査
3	9/4	土		休会	議事調査
4	9/5	日		休会	議事調査
5	9/6	月	10時	本会議 委員会	一般質問、議案等の質疑 委員会付託 付託案件の審査（常任委員会）
6	9/7	火	10時	委員会	付託案件の審査（常任委員会）
7	9/8	水	10時	委員会	付託案件の審査（常任委員会）
8	9/9	木	10時	委員会	付託案件の審査（常任委員会）
9	9/10	金	10時	議会運営委員会 全員協議会 本会議	付託案件の報告、質疑、討論、採決

議員出席状況

6月定例会（委員会を除く）
6月3日 全員出席
8日 全員出席

傍聴者数

6月定例会 なし

広報委員会

委員長 川澄俊治
副委員長 高安澄
委員 根崎安将
委員 鳥羽野田富男
委員 入野富男

傍聴に関するお知らせ（新型コロナウイルス感染症対策）

6月定例会については、新型コロナウイルス感染症拡大の防止及び傍聴にお越しくくださる皆様の健康を守る観点から、議会の傍聴をご遠慮いただきました。皆様のご理解とご協力ありがとうございました。

9月定例会の傍聴については、8月26日開催予定の議会運営委員会において協議決定し、町ホームページにてお知らせいたします。